

吹田市商工業振興対策協議会 議事録

- 1 開催日 平成 30 年 11 月 1 日（木）
- 2 開催場所 吹田市文化会館 メイシアター 3 階 第一会議室
- 3 開催時間 午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分
- 4 出席委員 佐竹委員、井上委員、石川委員、好見委員、山口委員、浦部委員、村口委員
福家委員、平岡委員、細見委員
- 5 欠席委員 橋本委員、田中委員、森田委員
- 6 出席職員 畑澤部長、熱田次長、奥山室長、大音参事、神堀主幹、宮崎主査、渡辺係員
- 7 公開・非公開の別 公開
- 8 傍聴者 4 名
- 9 配付資料（事前送付）
 - (1) 次第
 - (2) 資料集
 - 資料番号 1 「商店街等エリア魅力向上モデル事業」について
 - 資料番号 2 平成 30 年大阪北部を震源とする地震及び台風第 21 号の影響に関する中小企業者支援について
 - 資料番号 3 （報告）吹田市商工振興ビジョン 2025 検証シート

10 会議内容（発言要旨）

< 案件（1） 「商店街等エリア魅力向上モデル事業」について >

事務局側から資料説明の後、次の意見、質疑があった。

（委員） 事業概要に「不動産オーナーの掘り起し」とあるが、空き店舗があっても貸出を渋る不動産オーナーがいるため街が活性化しない。その点も検討が必要と思う。

（委員） 戦略案は誰が作成したものなのか。

(事務局) 市内各商店街に本事業の提案をした際、参加意思を示した旭通商店街を中心にエリアワーキンググループのメンバーを集めた。そのグループで話し合われた内容を大阪府から委託を受けた事業者が中心となってまとめている。

(委員) 今年度1年間の事業ということならば、できるだけ早く情報提供をしてほしかった。何故今回の報告になったのか。

(事務局) 前回の協議会の時点ではまだメンバーも決まっておらず報告の段階ではないと判断したためである。もし今後と同様の事業があればなるべく早くお伝えする。

(委員) 資料P1の1事業目的の中に「エリアの新陳代謝の促進」とあるがどういう意味か。

(事務局) この言葉自体は大阪府の公募要領から引用したものだが、商店街を含むエリアの価値を高めることによって若者の創業希望者を増やすという意味と解釈をしている。

<案件(2)平成30年大阪北部を震源とする地震及び台風第21号の影響に関する中小企業者支援について>

事務局側から資料説明の後、次の意見、質疑があった。

(委員) 吹田市は地震被害、台風被害の情報をどのように把握したのか。また、吹田市の災害の補償制度では自宅と兼ねる商店・工場部分を対象外としているが、それについてはどう考えているか。

(事務局) 被害情報については個別にはあるが企業訪問の際に情報収集を行い、把握を進めている。事業所向けの支援策は今のところ無いが、融資制度等の既存事業で対応できるものがあれば紹介している。

(委員) セーフティネット4号は申請件数が少ない。「売上等が前年度に比して20%減少していることが見込まれていること」という要件があるため使いにくいのではないか。支援の対象を拡大してほしい。

(委員) 今回の小規模事業者持続化補助金は災害の前に交付決定がなされているので、大阪府下の商工会議所は、採択を受けたが災害の影響で補助対象期間中にその補助金を使用できない事業者のために適用期間の延長を求めている。

(会長) 使用できないとはどういうことか。

(委員) 例えば店舗改装に使用するために補助金の交付決定を受けても、改装業者が災害対応の工事のために手が塞がっていて改装ができない等の理由である。

<案件(3) (報告)吹田市商工振興ビジョン2025 検証シート>
事務局側から資料説明の後、次の意見、質疑があった。

(委員) 創業支援の女性創業塾等に講師として携わっているが、長期の講座にも関わらず女性支援塾の参加者は最後まで熱心に受講されていた。今までの受講者からも吹田市で子育てをしながら創業もしたいという声をよく聞いた。

(委員) 起業家交流会をより創業希望者の集まる場にしてほしい。また、夏休み子ども体験学習は33名の応募者から24名の参加者を選ぶのであれば全員参加させてあげられなかったのか。

(事務局) なるべく多くの児童に参加してもらいたいですが、市の体制では見学受け入れ先に多くの児童を連れていくことができない。また、移動手段であるマイクロバスの定員が24名となっているため安全面を考慮し現在の人数になっている。

(委員) 先程別の委員がセーフティネット4号は申請件数が少ないと発言していたが、現在は低金利で民間の金融機関も融資先を探しているような状況が生じているため、信用保証協会からなくても融資を受けられる機関があるのではないか。そのような中で、行政が実施する融資や利子補給金等の中小企業の金融支援の在り方はこのままでいいのか検討が必要ではないか。

(委員) 夏休み子ども体験学習について、市の体制では多くの児童の受け入れが難しいのであれば学校と連携してはどうか。また、開業利子補給金は、去年の予算は4件で962千円、今年予算は2件で1,769千円となっているが、1件あたりの金額が増えているのは何故か。

(事務局) 開業利子補給金の対象となる融資制度として大阪府の開業サポート資金や日本政策金融公庫の新創業融資があるが、補給金の予算はこれら全ての実行件数から算出された金額である。金額が多いということは融資制度自体の活用者が多いという意味であり、これらに対応できるように補給金の予算も多くとっている。

(委員) 創業者は94名と去年より増えているが創業塾の参加者人数が減っていないか。

(事務局) 女性創業塾参加者に関しては多少の増減はあるが毎年同様の人数である、創業塾参加者は確かに減っているが創業希望者が減っているわけではなく、自治体以外の創業支援機関が増え、ライフスタイルにあったものを選べるようになったからと思われる。

(委員) 今後、創業はもう増えないのか。

- (会長) 近頃は熟年の創業や女性の創業、学生の創業等が増えているが、その分廃業も多い。
- (委員) 起業家交流会の実行委員を担っているが、今後もより参加者の創業意欲が湧くような講演者を探していきたい。
- (委員) これらの取り組みに対して自分達のような主婦がどのような関わり方ができるのかを知りたい。そういった意味では産業フェアの取り組みには注目している。
- (委員) 創業間もない方が事業を継続していくために、創業者自身が補助金等を活用するスキルを身につけていかなければならないと感じた。
- (委員) 企業情報収集・支援事業の予算は無いのか。
- (事務局) 記載はないが専門の企業情報収集員（非常勤職員）1名の給与として予算がある。
- (委員) 企業情報収集・支援事業の調査の中身は十分な内容になっているのか知りたい。
- (会長) 過去にも同様の内容が議題になったため、それらを参照してはどうか。
- (事務局) 商工振興ビジョン 2025 に企業訪問の現状と課題というタイトルで掲載しており、ホームページにも掲載している。また、企業訪問の際は様式に基づいて事業者様の課題や要望を聞き取りし、施策に活かしている。
- (委員) 中小企業資金融資の件数が少ないが、実際はもっと多いのではないか。窓口で断られている申請者はいないのか。
- (事務局) 申請したが実行に至らないということはあっても、融資の枠が無くなった等の特別な事情がなければ申請をお断りはしない。件数は確かに少ないので、セミナー等で広報活動に努めている。
- (委員) ホームページの作成事業補助金の予算を減らすのは何故か。また、ホームページも更新に関しても対象となるようにしてほしい。
- (事務局) 開始当初からは減っているが、近年は補助金の額に変動はない。ホームページ更新に関しても過去に対象とできるように拡充を検討したこともあるが、今のところ市としてはホームページの更新は対象外と判断している。
- (委員) 商工業予算が減っているという話があったが、商工業に対する予算は投資だと思うので、リ

スクもあると思うが今後ともよろしくお願ひしたい。また、消費税が上がり事業者の負担も増えるため、それに対する取り組みが必要なのではないかと思う。

(委員) REASAS の活用について予算があると記載があるが、何か行うのか。

(事務局) かつては市で REASAS を活用していたが、現在は市のシステムの都合上 REASAS にログインできなくなっているため、このように記載した。

(委員) 東京都の「APT Women」という女性ベンチャー成長促進事業のように吹田市も女性起業家を多く輩出し、魅力ある町になればいいと思う。

(委員) 男女共同参画センターが主体となって Facebook で女性創業塾の卒業生のグループを作成したため、情報があれば流してほしい。

(委員) 図書館のビジネスコーナーに興味を持った。

(委員) 大学生への創業支援があればいいと思う。

(会長) 大学独自では創業支援を行っているところが多いが、市と連携して何かしているのか。

(事務局) 商工会議所は大阪学院大学で起業についての講演を行っており、市としては大阪大学等のベンチャー企業と連携して取り組んでいきたい。

(委員) 旭通商店街以外の商店街にも支援を強めていく必要があるのではないか。

(事務局) 旭通商店街以外の商店街にも訪問しており、今後も地域に合った支援を検討していく。

(委員) 商店街が新しいものになるのではないかと期待している。

<その他について>

事務局側から、次回開催日程が 2月6日(水)となる旨の連絡があった。